

「受入れの際の保護者との面談について」

急に、外国人児童を学校に受け入れることになった！
保護者との面談で何を確認すればよいのだろうか？



面談で確認することをリストアップします！
下の確認事項を参考にしてください。

面談で確認すること

※ 通訳が必要な場合は、サポート資料 No. 1 も参照して
みて下さい。

- ① 氏名
 - ・ 就学通知書等や住民基本台帳等に基づいた、本名の正確な表記や読み方
 - ・ 学校での名前呼び方の確認
- ② 生年月日
- ③ 国籍
- ④ 主な言語
- ⑤ 入国年月日
 - ※ 一度日本に来日した後、母国に戻り再度日本に来日する場合もあるため、移動歴も詳細に聞き取る
- ⑥ 健康状態
 - 持病（薬を飲んでいるか）、アレルギー疾患、結核検診、麻疹の既往歴等
- ⑦ 宗教上の配慮事項（食べ物、服装、礼拝等）
- ⑧ 滞在予定（永住か一時滞在か等）、在留資格・期間（在留カードに記載してある）
- ⑨ 家族構成
 - ・ 家庭内の言語状況
 - ・ 家族や身近な人の中で日本語を話せる人がいるか
- ⑩ 連絡先や連絡手段（身近に通訳ができる人がいるか）
- ⑪ 生育歴、母国での就学状況、学習履修状況等（足し算、引き算、割り算、掛け算等）
- ⑫ 卒業後の進路希望や将来について
- ⑬ その他（不安に感じていることなど）

面談の際の聞き取り内容は、児童生徒の実態を把握するための貴重な情報ですね。



文部科学省より、個別の指導計画（様式1：児童生徒に関する記録）の様式例【別紙1】が示されています。聞き取った内容を、そのまま個別の指導計画（様式1）に記載しておけば、ずっと引き継いでいけますね。

「指導計画の様式は、各地域の実態等に応じて定めるもの」とされています。参考として、受け入れ時に聞き取った情報を、そのまま記録できる個別の指導計画（様式1）の様式例【別紙2・3】を作成してみました。

※ワードのデータも同時にお送りしております。是非、御活用ください。

【別紙 1】 文部科学省が示す様式例

(学校内で作成する指導計画 記入例)

個別の指導計画(参考様式)

様式1(児童生徒に関する記録)

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
在籍					H23	H24	H25	H26	
フリガナ 児童生徒氏名 (通称)	(男・女)					国籍等	ブラジル		
フリガナ 保護者氏名 (通称)						続柄	父		
生年月日	平成12年 5月 10日					出生地	ブラジル		
入国年月日	平成23年 3月 25日			学校受入年月日	平成23年 4月 1日				
家族構成	祖父、父、母、姉、本人、弟								
家庭内使用言語	祖父・弟とは日本語、 父・母・姉とはポルトガル語								
生育歴・学習歴	ブラジルで、小学校に就学。 平成23年度 前年度末に来日。小学校5年生に編入。 日本語指導を週に7時間。 平成25年度 中学校入学。 日本語指導を週に4時間。 平成26年度 「特別の教育課程」による日本語指導を週に4時間。								
学校内外での支援状況	毎週土曜日2時間 ○○国際交流協会開催の日本語教室								
進路希望	進学(○○高校○○学科)								
その他	発達障害等の診断の有無 宗教上の配慮事項 等								

文部科学省 HP : トップ > 教育 > 国際教育 > CLARINETへようこそ > 帰国・外国人児童生徒教育情報 > 学校教育法施行規則の一部を改正する省令等の施行について (通知)

参考様式 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003/1341903.htm

広島県教育委員会 HP : ホットライン教育ひろしま > 義務教育指導課 > 日本語指導 > 帰国・外国人児童生徒等教育・日本語指導関連情報 > 関連通知 (H26 通知)

参考様式 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku12/nihongoshidou.html>

【別紙2】 H26 文科通知「学校教育法施行規則の一部を改正する省令等の施行について」で示された様式を参考に広島県教育委員会が作成したものです。

個別の指導計画 【学校内で作成する指導計画 記入例】

様式1 (児童生徒に関する記録)

フリガナ				性別		国籍	A国	
氏名				主な言語				
(通称)				生年月日	平成	年(西暦)	年	月 日
入国年月日	令和	年	月 日	学校受入年月日	令和	年	月 日	
健康状態	※ 持病, アレルギー疾患, 結核検診, 麻疹の既往症歴等 〇〇のため, 薬(●●)を服用している。			受け入れの際に, 聞き取って記録をしておけば, その後ずっと, 引き継いでいける重要な情報になります。 新たに把握した情報は, 加筆していきましょう。				
宗教上の配慮事項	※ 習慣, 食べ物, 服装等 〇〇教のため, 〇〇を食べることができない。							
永住, 帰国予定等 今後の予定	永住を希望している。			在留資格				
				在留期間(満了日)	●年●月●日			
家族構成	氏名	続柄	国籍	本人との言語	日本語理解の状況・備考			
		父	A国	A国語	簡単な日本語の会話が可能			
		母	A国	A国語	日本語での会話は難しい			
		兄	A国	日本語・A国語	日本語での会話が可能			
家庭への連絡手段・連絡先								

学年	年齢	就学等の状況	特記事項
	0	出生地 A国	
	1	A国	
	2	A国	
	3		
	4	3月来日 〇〇市立〇〇保育園に入所	可能な範囲で聞き取りましょう。 児童生徒の成育歴, 就学状況を把握しておくことは, 今後の指導を行う上で重要な情報になります。
	5	7月A国に帰国 A国の幼稚園に入園	
	6	A国の幼稚園卒園	
小1	7	A国 〇〇小学校入学	
小2	8	A国 〇〇小学校	
小3	9	A国 〇〇小学校	
小4	10	A国 〇〇小学校	
小5	11	〇〇市立〇〇小学校 6月編入 特別的教育課程による日本語指導(週●時間)	地域の日本語教室「〇〇」 週2回
小6	12	〇〇市立〇〇小学校 卒業 特別的教育課程による日本語指導(週●時間)	地域の日本語教室「〇〇」 週2回
中1	13	〇〇市立〇〇中学校 入学 特別的教育課程による日本語指導(週●時間)	地域の日本語教室「〇〇」 週1回
中2	14	〇〇市立〇〇中学校 特別的教育課程による日本語指導(週●時間)	
中3	15	〇〇市立〇〇中学校 卒業 特別的教育課程による日本語指導(週●時間)	
中学校卒業後の進路希望		高校, 大学へ進学し, 日本で就職することを希望している。	

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
学級担任					●●●●				
日本語指導者					〇〇〇〇				
取り出し指導の総時間数					180時間				
その他									

【関係機関との連携】

実施日	機関名	担当者	内容	記録者

以上のことを, 関係機関に共有することに同意しました。

年 月 日 保護者氏名

中学校・高等学校等への進学や, 関係機関との連携の際に, 保護者の同意を得ておくといでしょう。

【別紙3】参考様式（広島県）

個別の指導計画

【学校内で作成する指導計画 参考様式】

様式1（児童生徒に関する記録）

フリガナ		性別		国籍	
氏名		主な言語			
(通称)		生年月日	平成 年(西暦 年) 月 日		
入国年月日	令和 年 月 日	学校受入年月日	令和 年 月 日		
健康状態	※ 持病, アレルギー疾患, 結核検診, 麻疹の既往症歴等				
宗教上の配慮事項	※ 習慣, 食べ物, 服装等				
永住, 帰国予定等 今後の予定			在留資格		
			在留期間(満了日)	年 月 日	
家族構成	氏名	続柄	国籍	本人との言語	日本語理解の状況・備考
家庭への連絡手段・連絡先					

学年	年齢	就学等の状況	特記事項
	0		
	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
小1	7		
小2	8		
小3	9		
小4	10		
小5	11		
小6	12		
中1	13		
中2	14		
中3	15		

中学校卒業後の進路希望	
-------------	--

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
--	----	----	----	----	----	----	----	----	----

学級担任	
日本語指導者	
取り出し指導の 総時間数	
その他	

【関係機関との連携】				
実施日	機関名	担当者	内容	記録者

以上のことを, 関係機関に共有することに同意しました。

年 月 日 保護者氏名